

第31回栗東市中小企業振興会議 会議概要

■日時： 令和3年12月7日（火） 午後3時00分～午後3時45分

■場所： 栗東市役所2階第2会議室

■出席： 《委員》

清水 憲委員（会長）、近藤 宏一委員（副会長）、杉本 浩志委員、山本 良人委員
岡 敦哉委員、清水 久輝委員、高野 正勝委員、掛作 茉莉子委員

《オブザーバー》

栗東市商工会担当

《事務局》

商工観光労政課長、商工観光労政課事務局担当

■欠席： 田中 義信委員、水沼 崇委員

1. 開会

（商工観光労政課長）

2. 市民憲章唱和

3. あいさつ

（清水会長あいさつ 省略）

4. 委員紹介について

5. 報告事項

（1）商工振興ビジョン後半期ロードマップに係る進捗状況について（資料1）

○事務局説明（省略）

【おもな意見交換】

→特になし

（2）市内経済に及ぼす新型コロナウイルス感染症の影響等について（資料2）

○事務局説明（省略）

【おもな意見交換】

→特になし

（3）今年度の主な実施事業の進捗状況について（資料3）

○事務局説明（省略）

【おもな意見交換】

→特になし

6. 協議事項

(1) 新年度の事業に向けた考え方(案)について(資料4)

○事務局説明(省略)

【おもな意見交換】

委員： プレミアム付商品券発行事業について、令和3年度は商品券を3回に分けて発行し、全ての回において応募多数であることから購入者を抽選で決定しているが、3回とも当選しなかった応募者はいるのか。

来年度については、例えば1回目に当選しなかった応募者は2回目に当選しやすくするといったように、抽選方法を工夫することでより多くの方が購入できるようになるのではないか。

事務局： 3回とも当選しなかった応募者がいるのか把握はできていないが、該当者はいることが考えられる。

来年度は各回20,000冊の発行を予定しているが、予算の状況も踏まえながら可能な限り多くの方が購入できるよう販売冊数を検討したい。抽選方法についても、商工会と協議して検討をしていきたい。

委員： 市内飲食感染防止対策支援金事業について、自社においても、外部での飲食については滋賀県の認証店舗を利用することが決められており、是非ともこの制度は実施してもらいたい。

栗東市内の店舗の認証数について、滋賀県、近隣市と比較すると低くなっているが、原因として何かわかることはあるのか。

事務局： 野洲市については、令和3年10月から認証店舗に対する支援金事業を実施していることから県内でも認証率が高い状況となっている。

草津市、守山市については認証率が高い要因は把握できていないが、本市よりも駅前飲食店が多く、そのような店舗が認証を受けておられるのではないかと考えられる。

今後は、認証店舗への支援金事業の実施だけではなく、当制度のさらなる周知を実施していく必要があると考えている。

委員： 市内事業者へのアンケート調査事業について、調査を行うことは重要であると考えている。その調査結果を後半期ロードマップの評価に対してどのように反映していくのか。後半期ロードマップへの内容の見直しにかかる今後の考え方があるのか。

事務局： 後半期ロードマップは令和4年度が5か年の計画期間の3年目にあたり、計画の中間評価を行う年となる。

当ロードマップにおける各年度の実施計画に位置付けている各事業について、令和4年度に今後の実施方法・内容等について検討をすることとなっている。その検討のためにアンケート調査結果を活用していくが、5か年の計画期間であることから、中間時点

で事業の廃止をしていくということではなく、制度内容の見直しや拡大等を行い、申請件数が少ない制度の活用を促進できるように考えていきたい。

(2) その他

○事務局

- ・ご意見シートを添付しているため、会議後に意見等あれば記入していただきたい。
- ・次回の会議については、2月上旬を目処に日程調整を行う。

○清水久委員

- ・所属団体の役員改選があった。次回の会議から後任者が出席する。

7. 閉会

(近藤副会長 あいさつ 省略)